

## 学生が魅力あるアウトレットパークを提案 三井不動産商業マネジメント株式会社とワークショップを開催します！

横浜市立大学は、2020年4月の「三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド」全面建替え後のグランドオープンに向けて、「若者が来たいと思うアウトレットパーク」の提案を行うことを目的に、三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド（運営：三井不動産商業マネジメント株式会社）と協働でワークショップを開催します。

この取組は、あしたタウンプロジェクト※に参画する企業と横浜市立大学の産学連携活動の一環として実施され、本学国際教養学部の中西正彦准教授（都市計画論）及び三輪律江准教授（市民まちづくり論）、国際商学部の吉永崇史准教授（経営組織論）の3つのゼミから学生約30名が参加します。学生はワークショップを通して、近年の商業環境の変化やそれを踏まえた事業者の戦略等を学ぶとともに、若者の消費行動を分析し、若者他の購買層獲得など集客につながるアイデアを提案します。

- 開催日時 2020年1月29日（水）15:00～17:00
- 場 所 並木ラボ（横浜市金沢区並木1丁目17）  
シーサイドライン「並木中央」駅から徒歩約6分、「並木北」駅から徒歩約6分、  
京浜急行「京急富岡」駅から徒歩約10分

ワークショップ開催に先立ち、2019年12月2日には並木ラボにて意見交換会を実施。学生たちは、担当者からアウトレットパーク開業後の概要について説明を受けた後、広報戦略や交通の課題等について積極的に質問を行いました。この意見交換会で、アウトレットパークへの理解を深めた学生が、本ワークショップに臨みます。



<2019年12月2日に並木ラボで実施した意見交換会の様子>

### ※ あしたタウンプロジェクト

金沢シーサイドタウンの課題解決や活性化を目的とした計画の総称。本プロジェクトは横浜市立大学と横浜市住宅供給公社を事務局とし、地元企業や団体、行政、大学、地域住民らで構成される「横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会」との協働で実施。プロジェクト名には「このまちの豊かな毎日をあしたに繋いでいこう」という思いが込められており、「並木ラボ」を拠点として、まちの魅力発信やより住みたいまちにしていくための活動を展開している。